

## 社会学部報

- ◇昭和49年5月22日学部研究会発表者小関藤一郎教授「アルジェリアの CIS に出席して」
- ◇昭和49年6月26日学部研究会発表者定平元四良教授「E.H. Carr の The Prospects of internationalism について」 山本武利助教授「政治・意見広告について」
- ◇昭和49年9月25日学部研究会発表者武田建教授「Dr. J. Wolpe の行動療法」
- ◇昭和49年10月23日学部研究会発表者津金沢聡広助教授「朝鮮民主主義人民共和国の教育制度を中心として」

### 海外出張

- 田中国夫教授 昭和49年4月14日より4月24日まで、神戸市と天津市との市民交流を深めるため、中国へ。
- 武田 建教授 昭和49年5月30日より7月20日まで、テンプル大学医学部精神科における行動療法講習会受講のため、米国へ。
- 宮田満雄助教授 昭和49年7月2日より7月14日まで、バギオ会議に日本代表の一員として出席のため、フィリピンへ。
- 杉山貞夫教授 昭和49年6月7日より6月23日まで、国際人間工学会理事会出席および1976年度 IEA 大会準備補助委員として打合せのため、イギリスへ。
- 中野秀一郎助教授 昭和49年7月1日より8月31日までベトナム社会のイデオロギック的基盤と近代化エリートの研究・資料収集のため、サイゴンへ。
- 丹羽春喜教授 昭和49年7月22日より7月28日まで、日・韓・華三カ国教授会議出席のため、台湾へ。
- 昭和49年9月9日より9月19日まで、国際関係研究所の主催する学術会議「大陸問題研究討論会」に出席のため、台湾へ。
- 山路勝彦専任講師 昭和49年8月1日より9月30日まで台湾漢人および高山族の調査研究のため、台湾。
- 津金沢聡広助教授 昭和49年8月3日より8月24日まで関西学術交流訪朝団の一員として、朝鮮民主主義人民共和国へ。
- 萬成 博教授 昭和49年8月17日より9月8日まで、第8回世界社会学会出席のため、カナダへ。

### 会員の新著

- 森川甫助教授 現代キリスト教思想叢書12ムニエ著「キリスト者の対決」エリユル著「意志と行為」(訳書) 昭和49年8月白水社
- 紺田千登史助教授 ジャン・ヴァール著「フランス哲学小史」(訳書) 昭和49年9月ミネルヴァ書房

## 学会消息

### ◇関西社会学会

第25回関西社会学会大会は5月24日、25日高松市の香川大学で開催された。本学からこの大会に多数の人々が参加したばかりでなく多数の発表者があった。シンポジウムの「水と村」において、余田博通教授は「水と村」について蘊蓄を傾けて発表したほか、中野秀一郎助教授は「大学教授における政治的志向について—A大学の調査事例を中心として—」を発表、真鍋一史講師は「政党支持態度の実証的研究—政党支持の概念の再検討—」について発表したほか、院生、井上文夫の「一村落の集団論的研究」、交野正芳の「村落社会の変容過程に関して—宝塚市長谷地区の事例より—」松井茂樹の「明治商法にみられる職業観の変遷」等の発表があった。司会では小関藤一郎教授は第2日午前の文化社会学関係部室の司会を行った。なお本学修士、現四天王寺女子短期大学清水夏樹の「集合表象」の認識論的基礎と題する発表も行われた。

### ◇日本社会心理学会第15回大会

日本社会心理学会第15回大会は去る10月13~14両日にわたって岡山大学で開催された。本学部からは田中国夫教授、佐々木薫教授、中里浩明君、山口真人君、井上和子さん、井上徹君ら(いずれも大学院生)が参加した。シンポジウム「理想の家庭像を求めて」の発題者として田中国夫、≡世論≡と家庭づくりの観点から、研究発表(○印が口頭発表者)

- 中里浩明、井上徹、田中国夫、欲求の類似性・相補性と対人魅力
- 井上徹、中里浩明、田中国夫、性役割態度と対人魅力
- 井上和子、田中国夫、行動の予測因としての態度およびその他の変数に関する研究(Ⅲ)——Fishbeinの予測式と Rokeach の予測式の両者を用いて——
- 租田有造、山口真人、佐々木薫、都市消防組織の社会心理学的研究(Ⅳ)——システム得点の上昇及び下降にともなう職員の意識変化——(租田有造氏は昭和49年本学大学院修士課程修了、現在日立製作所に勤務)

### ◇日本教育心理学会第16回総会

去る9月25~27日の3日間千葉大学において日本教育心理学会第16回総会が開催された。一部にヘルメットを冠った学生の反対運動がみられたが、スケジュールは完了した。本学部からの参加は次の通りであった。

- (○印は研究発表における口頭発表者、敬称略)
- 大前衛、田中国夫保守主義尺度の研究(2)——Wilson & Patterson 尺度の妥当性の検討——
- 佐々木薫学生集団のグループ・ダイナミック的研究(Ⅳ)——テニス部とテニス同好会の比較——

#### ◇日本グループ・ダイナミックス学会第22回大会

日本グループ・ダイナミックス学会第22回大会は去る10月12日広島大学総合科学部において開催された。本学部からは佐々木薫教授および山口真人君（大学院博士課程）が参加して下記の研究発表を行なった。（○印が口頭発表者）

- 佐々木薫，山口真人クラブ活動における所属動機，集団過程および満足度
- 山口真人，佐々木薫集団における失敗経験と体制変更への要求
- 高井和博，佐々木薫，山口真人リーダーの権限集中と分散が集団過程におよぼす効果の研究（高井和博氏は昭和45年本学部卒業生，現在加古川市米田公民館に勤

務）

#### ◇日本新聞学会

昭和49年6月7，8両日，甲南大学において大会ならびに春季研究発表会が開催された。個人発表のほか，シンポジウム「世論とマスコミ」がおこなわれ，情報化時代における社会不安の問題が熱心に討議された。本学部からは，藤原恵教授，津金沢聡広助教授，山本武利助教授，真鍋一史専任講師が出席した。また同年10月5日，成蹊大学において秋季研究発表会が開催された。個人発表のほか，シンポジウム「マス・メディアと意見広告」がおこなわれ，山本武利助教授がシンポジウムで報告をおこなった。本学部からは藤原恵教授が出席した。